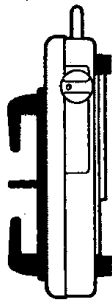
取扱説明書　RN－201BS　<RTS－1NE－B>　067　0509　13011

型式名　RTS-1NE-B

保証書付

取扱説明書
ガス卓上こんろ

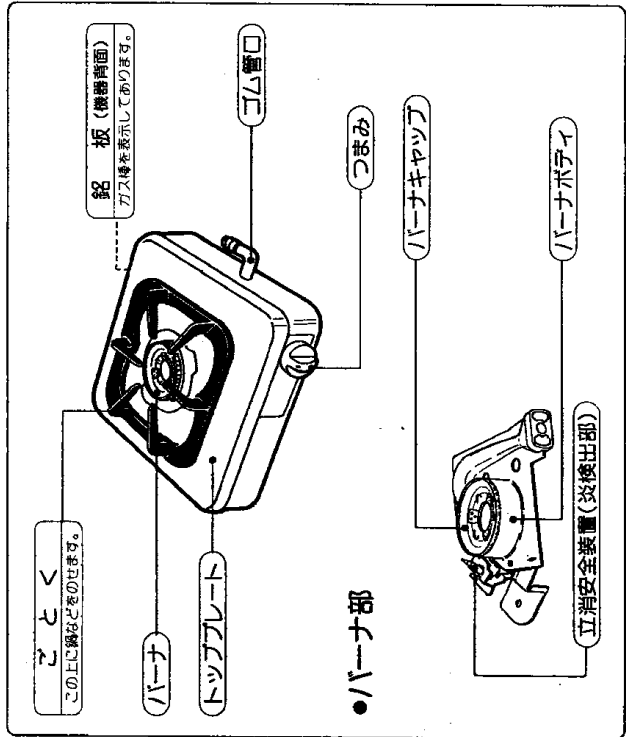
品名 **RN-201BS**
機器コード 067 0509

このたびは、ガス卓上こんろをお買上げいただきまして、ありがとうございます。
- ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくご使用ください。
- この取扱説明書のP14が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。

もくじ

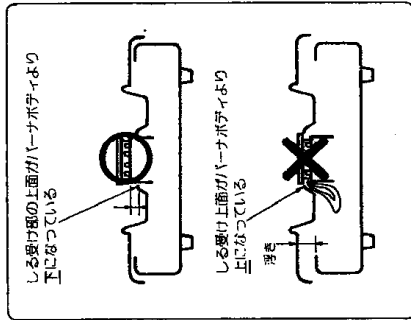
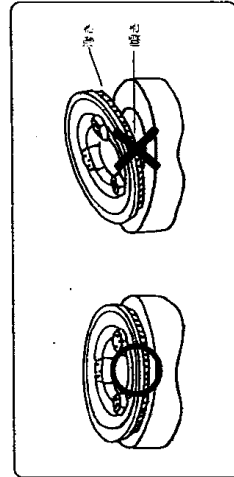
TOKYO GAS

機能と特長

ハイカロリーバーナ	立消安全装置付
3000kcal/hのハイカロリーバーナですのでより使い易くなりました。また、ステンレス製なので錆びにくく、長持ちします。	バーナは、煮こぼれなどで火が消えると自動的にガスを止める安全装置付です。(P6参照)

各部の名称とはたらき

部品のセット

●各部分の梱包部材をすべて取り除き、以下のように部品をセットします。

●トップブレート
四隅を上からしっかりと押さえつけてトップブレートのしる受け部の上面が、**バーナボディより下**になるようにしてください。

●バーナキャップ
バーナキャップはギザギザが下になるようにはめ込みます。
取り付けるときはバーナキャップを2～3回、回してバーナボディとの間に浮き、傾きがないように取り付けます。

●ごとく
P1の図のようにガタつきのないようにセットします。

設置の方法および周囲の防火措置

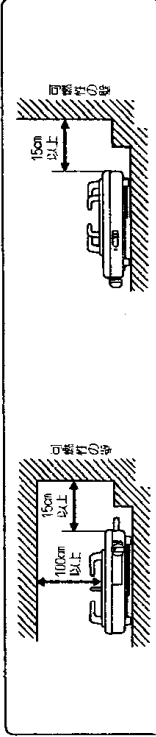
設置前のご注意

●機器背面の銘板に表示してあるガス種と使用ガスの種類が適合していることを確認します。
●この機器は都市ガス12A・13A用です。12A、13A以外のガスでは使用しないでください。

設置場所

●強い風の吹き込むところでは使用しないでください。風で吹き消されることがあります。
●機器は丈夫で水平な場所に設置します。
●たなの下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。

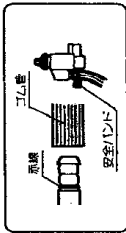
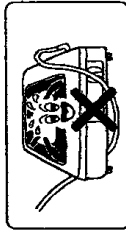
周囲の防火措置

●**設置場所の周囲に可燃物（木製の壁・たななど）のある場合**
機器の側面および背面は木製のような可燃性の壁から15cm以上離した場所で使います。可燃性の壁にステンレス板やタイルなど直接取り付けてご使用になる場合も同様です。また機器の上方の天井、吊りとだななど可燃性の部分との間は100cm以上離します。防火構造の場合はその限りではありません。

●**可燃性の壁から15cm以上（天井面は100cm以上）離して設置することができない場合**
別売りの防熱板を図のように取り付けます。調理台・流し台の側面などが可燃性で機器のトッププレートより高い場合も防熱板で調理台・流し台の側面を保護します。

設置の方法および周囲の防火措置

ガス機器側の接続

1）ゴム管接続する場合

- お部屋のガス栓と機器のゴム管接続口を接続します。
- ゴム管はガス用ゴム管を用い折れたりねじれたりしないようできるだけ短く（2m以下で適当にゆとりをもたせる）また機器の下を通したり機器に触れないようにしてお使いください。
- ゴム管は、ゴム管口の赤線まで差し込み、安全バンドで確実に止めます。
- ゴム管の継ぎたしおよび二又分岐は行わない。

2）機器のゴム管差し込み口をコンセント化してガスコードでコンセント接続する場合

上図のように、まず別売の器具用プラグを器具用プラグ梱包台紙の裏面に記載してある取扱説明に従って機器のゴム管差し込み口に取付け、次にガスコードの器具用ソケットを器具用プラグに"カチッ"と音がするまで押し込みます。

ガス栓側の接続

1）ゴム管接続する場合

ゴム管は、ゴム管口の赤線まで差し込み、安全バンドで確実に止めてください。
ゴム管の継ぎたしおよび二又分岐は行わないでください。

2）ガスコード等でコンセント接続する場合

お部屋のガス栓がコンセント型ガス栓の場合、"カチッ"と音がするまで差し込みます。（P8参照）

操作のしかた

点火前の確認と準備

- ガスのゴム管が確実に接続されていることとつまみの「止」を確認し、お部屋のガス栓を全開にします。（但し、ガス栓が"開閉つまみの無い『ガスコンセント』"の場合は、ガスコード等のソケットを『ガスコンセント』へ取り付けますと自動的に開栓します。P8参照）

ご注意

お部屋のガス栓を開く際には、誤って機器が接続されていないガス栓を開いたり、他の機器のガス栓を操作しないよう十分注意してください。

1.点　　火

つまみを左（「開」の方向）へゆっくりいっぱいに回します。

- 「カチッ」と音がしてバーナに点火します。バーナへ火移りしたことを確かめてから数秒間そのままの位置で保持します。
  （途中で手をゆるめたり、離すと点火しないことがあります）

- つまみから手を離したときに、火が消えた場合は保持時間の不足です。もう一度同じ操作を繰り返し、つまみの保持時間を前回より長くしてゆっくり手を離してください。

ご注意

しばらく使わないで点火するときは、ゴム管内に空気が入って点火しにくいことがあります。この場合は3〜4回点火操作を繰り返してください。

2.火力調節

つまみを「止」と「開」の間でゆっくり回して適当な炎に加減します。

- 弱火でご使用のときは、風などでバーナの炎が消えやすいので、吹き消えに注意し、必ず燃焼していることを確かめてください。

操作のしかた

3.消　　火

つまみを右へいっぱい（「止」の位置まで確実に）回します。

- 完全に「止」の位置まで回さないとガスが漏れたりして危険です。
- 消火直後はやけどのおそれがありますので、バーナ部やトップブレート、ごとくには手を触れないでください。

消火

止

開

立消安全装置について

立消安全装置とは、煮こぼれなどで火が消えると自動的にガスを止める安全装置です。

ご注意

- 立消安全装置（炎検知部）に水滴や煮こぼれがつくと、点火しにくくなったり、消火することがあります。鍋の底についた水滴はふきとってから、ごとくの上にのせてください。
  （煮こぼれにも注意してください）
- 炎検知部に固いものをぶつけたりしないでください。取り付け位置が変わると点火しにくくなります。

安全装置が作動したときの処置方法

使用中火が消えたときは

- 安全装置が働いて自動的にガスが止まります。
  消火に気づいたときは、すぐにつまみを「止」の位置に戻し、消火の状態にします。

再点火するときは

- 周囲に生ガスがなくなるまで、しばらく待ってから「操作のしかた」に従って点火します。

使用上のご注意

特に注意していただきたいこと

使用ガスについて	器体（銘板）に表示してあるガス（ガスグループ）以外では使用しないでください。銘板は器体（機器本体）背面に貼ってあります。
ガス事故防止	使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確認してください。
ガス漏れには、十分ご注意ください。	ガス漏れに気づいたときには、窓や戸を全部開き、すぐにガス栓を閉め、もよりの「東京ガス」に連絡してください。（但し、ガス栓が"開閉ツマミの無い「ガスコンセント」"の場合は、ガスコード等のソケットを「ガスコンセント」から取外しますと自動的に閉栓します。） 東京ガスの係員が処置するまでは、電源プラグの抜き差し、電気スイッチの「入・切」や、マッチ、ライターの使用は絶対にさけてください。
ガス使用中は換気に十分ご注意ください。	ときどき窓を開けるか、換気扇を回して新しい空気を入れてください。
燃えやすいもののそばに設置しないでください。	ふきん・紙など、燃えやすいものをそばに置くと、火災の原因になりますので絶対に置かないでください。また、近くで揮発性のものを使用しないでください。
調理中は、やけどにご注意ください。	使用中および使用直後は、トッププレート・ごとくなどは高温になっていますのでご注意ください。
調理以外の目的に使用しないでください。	過熱・異常燃焼などによる焼損・火災などの原因となります。
転居されるとき。	ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガス種を確認したうえ、転居先のガス会社に相談し、必ず調整したうえでご使用ください。 この場合、費用は保証期間内でも有料となります。
市販の補助用具使用について	コンロの炎をふさいだり、おおってしまうような大きな鉄板類や、補助用具は使用しないでください。不完全燃焼をおこしたり、機器が異常に過熱するおそれがあります。
異常時のご注意	異常と思われたときはP11の「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店またはもよりの「東京ガス」にご連絡ください。
アルミ箔製しる受け使用禁止。	アルミ箔製しる受け使用禁止 市販のアルミ箔製しる受けを敷いて使用しないでください。アルミ箔製しる受けを使用しますと、異常過熱したり、不完全燃焼の原因となり危険です。
炎のあふれによるやけどのご注意	なべの大きさや形状によっては、炎のあふれで熱くなることがあります。やけどにご注意ください。

使用上のご注意

初めてお使いになるときのガス栓の開栓方法

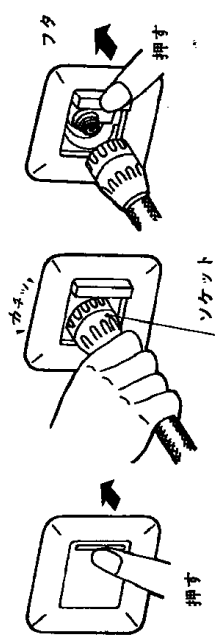
ガス栓が"開閉ツマミの無い『ガスコンセント』"の場合は、ガスコード等のソケットを『ガスコンセント』へ取付けますと自動的に開栓します。

ガスコンセントについて

★『ガスコンセント』は、ガスコード等を取付けると自動的に開栓し、取外すと自動的に閉栓します。

◆フタを開ける
ガスコード等を接続するときは、まずフタの右端を押し、フタを開けます。

◆取付ける
ガスコード等のガス栓用ソケット側をガスコンセントに"カチッ"と音がするまで差し込みます。

◆取外す
ソケットを外すときは右側にあるフタを押します。

お手入れのしかた

安全にお使いいただくために必ず行ってください。

日常の点検	●ゴム管やガスコードの接続は、確実に行い（P4参照）機器に接触したり、機器の下を通ったりしていませんか。 ●機器の近くに、ふきん・紙など、燃えやすいものが置いてありませんか。 ●バーナボディ、バーナキャップ、ごとくは、正しくセットされていますか。 ●バーナキャップの炎口が煮こぼれなどでつまっていませんか。 ●立消安全装置（炎検知部）の先端に煮こぼれによる異物や水などがついていませんか。

お部屋のガス栓を閉じて機器が冷えてから行ってください。

ガス栓が"開閉つまみの無い「ガスコンセント」"の場合は、ガスコードなどのソケットを「ガスコンセント」から取りはずしてください。
P8参照

お手入れのしかた	
(1) 機器本体	●乾いた布でよくふいてください。汚れのひどいときは、中性洗剤（食器・野菜洗い用）で手入れ後、乾いた布で水気を十分とってください。 ご注意 金属たわしや、クレンザーなどは使用しないでください。表面にキズがつくことがあります。
(2) トッププレート	●乾いた布でよくふいてください。汚れのひどいときは中性洗剤で水洗いし乾いた布で水気を十分とってください。 ご注意 取り付けるときは、四隅をしっかりと上から押さえつけて確実に取り付けてください。（P2参照）
(3) バーナ部	●立消安全装置（炎検知部）についた煮こぼれなどは布で汚れをふきとってください。 ご注意 固いブラシなどではみがかないでください。故障の原因になります。

お手入れのしかた

ガスを有効にお使いいただくために、バーナ部はこまめにお手入れください。

●バーナキャップの炎口が煮こぼれなどで目づまりしたり、汚れがひどい場合、炎が不ぞろいになったり、不完全燃焼したり、点火しないことがあります。
バーナキャップを取りはずして、水洗いしてください。
また、裏面の炎口（とくに溝の部分）をブラシやきり状のもの（針金など）できれいに掃除してください。

（バーナキャップ裏面）

ご注意

●バーナキャップを水洗いしたときは、必ず水気をとってから取り付け、正常に燃焼するか確認してください。
●バーナキャップは正しくセットしてください。（P2参照）
●バーナキャップをお求めになる場合はコードNo.151-040-000のものを使用してください。これ以外のものは使用できません。

故障かな？と思ったら

次のことを調べてください

現象	原因	処置
●点火しない	●ガス栓の開き忘れ（ゴム管接続の場合）	●お部屋のガス栓を全開にしてください。
	●ゴム管やガスコードの折れ、つぶれ	●ゴム管やガスコードの折れ、つぶれをなおしてください。
●点火しにくい	●ガス栓の開き不十分	●お部屋のガス栓を全開にしてください。
	●配管中に空気が残っている	●点火操作をくり返してください。 ※設置時など点火するまで時間がかかります。（P5参照）
	●炎口づまり	●炎口を掃除してください。（P10参照）
●使用中消火しやすい	●立消安全装置部分の汚れ	●立消安全装置の掃除（P1、P6、P9参照）
●黄炎で燃える	●炎口づまり	●炎口を掃除してください。（P10参照）

こんな場合は故障ではありません

現象	理由と処置
点火操作後、手を離すと消火してしまう	●つまみから手を離したときに、火が消えた場合は保持時間の不足です。もう一度同じ操作を繰り返しつまみの保持時間を前回より長くし、ゆっくり手を離してください。

以上のことをお調べになってもなお、異常のあるときやおわかりにならないときには、お買い上げの販売店またはもよりの「東京ガス」にご連絡ください。
不完全な処置は事故のもとになります。

アフターサービスについて

サービスを依頼される前に

● P11の「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店またはもよりの「東京ガス」にご連絡ください。

● アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。

(1) お名前・ご住所・電話番号・道順（付近の目印等）

(2) 品　　名………RN－201BS　　機器コード　067 0509

(3) 現　　象………できるだけ詳しく

(4) 訪問ご希望日

保証について

● 取扱説明書のP14が保証書になっています。

● 必ず「販売店名、お買い上げ日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 無料修理期間経過後の故障修理については、故障修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は通商産業省の指導により、当製品の製造打切後5年間です。
なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

長期間使用しない場合

● お部屋のガス栓を必ず閉めてください。
（但し、ガス栓が"開閉つまみの無い「ガスコンセント」"の場合は、ガスコードなどのソケットを「ガスコンセント」から取りはずしますと、自動的に閉栓します）

● お手入れをしておくと次回使用するときに便利です。（P9、P10参照）

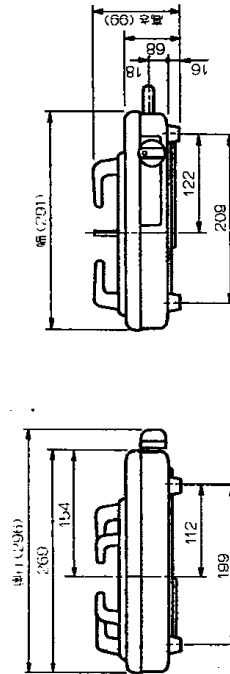
仕　様・寸法図

仕　様

品　名	RN－201BS
型式名	RTS－1NE－B
種　類	ガス卓上こんろ
点火方式	圧電点火方式
外形寸法	高さ99mm×幅291mm×奥行296mm（最大寸法）
重　量	1.8kg
ガス接続	ø9.5mmゴム管口
安全装置	立消安全装置
附属品	取扱説明書(保証書付)、事業所一覧

使用ガスグループ		ガス消費量 (kcal/h)
都市ガス	12　A	2800
	13　A	3000

寸法図

（単位：mm）

保証書

保　証　書

型式名	RTS-1NE-B

品名 RN-201BS ガス卓上こんろ

上記、機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は東京ガスの供給区域内において都市ガス用としてご使用になる場合、本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

(1)保証期間はお買い上げの日から1年間とし機器本体を対象とします。
(2)万一故障の場合はお買い上げの店、もしくはもよりの東京ガスへお申し出ください。
(3)サービス員が参上した時に本証書をお示しください。
(4)保証期間中でありましても、次の場合には有料修理といたします。
(イ)取扱説明書によらないでご使用になり故障した場合。
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
(ハ)火災、天災、地震等による故障、その他不可抗力による故障。
(ニ)お買い上げの店、あるいは東京ガスに、ご連絡なしに改造された場合の故障。
(ホ)機器に表示してある以外のガスでご使用のため改造される場合。ただし当社都合の場合はのぞきます。
(ヘ)本証書を紛失された場合。
(5)無料修理などアフターサービスについて、ご不明の場合はお買い上げの店またはもよりの東京ガス、支社、営業所にお問い合わせください。

保証履行者　東京ガス株式会社　〒105 東京都港区海岸1丁目5番20号
電話 代表 03(3433)2111

保証責任者　リンナイ株式会社　〒454 名古屋市中川区福住町2番26号
電話 代表 052(361)8211

修理記録

年　月　日	修　理　内　容	サービス員印

お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日

販売店名		扱者印
住　所		
電話番号		

お客様へ

1. この保証書をお受取りになる時に販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
3. この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの店またはもよりの東京ガス・支社・営業所にお問い合わせください。
4. 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

－ 14 －

TOKYO GAS

販売店名

製造者　リンナイ株式会社
東日本営業本部　東京都品川区東品川1丁目6番6号　電話 03(3471)8482　〒140
本　　社　名古屋市中川区福住町2番26号　電話 052(361)8211(代)　〒454

OF-01
1NE-50

グリル付
ガステーブル

PL法対応

取扱説明書別冊

安全に正しくお使いいただくために

- ご使用の前に、この取扱説明書別冊と本編をよくお読みのうえ安全に正しくお使いください。
- お読みになった後、いつも見られる所に必ず保管してください。
- 幼いお子様には、機器をさわらせないでください。
- 本製品は家庭用ですので業務用にお使いになると著しく寿命が縮まります。
- この機器は国内専用ですので海外で使用しないでください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが貼付してあります。汚れたり読めなくなったときはやわらかい布などで汚れをふきとってください。又お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は新しい注意ラベルに貼り替えてください。注意ラベルは販売店でお求めください。

〈安全に正しくお使いいただくために〉
製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

絵表示について次のような意味があります。

一般的な危険・警告・注意

火気厳禁

一般的な禁止

必ず行う

触れるな

分解禁止

(お願い)
- この取扱説明書別冊は、グリル付ガステーブル用です。
  お客様がお買い上げになった製品とイラストや仕様が異なる場合があります。

Ⓡ

機器コード							情報番号		通し番号		訂正番号
0	6	7	0	5	0	9	1	3	0	9	1

安全に正しくお使いいただくために

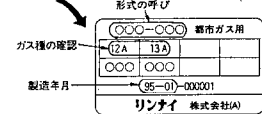
⚠危険

■ガス漏れに気づいたら絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの「入・切」、電源プラグの抜き差し、周辺の電話を使用しない

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。
①すぐに使用を中止しガス栓を閉める。
②窓や戸を開けガスを外へ出す。
③販売店、ガス事業者へ連絡する。

⚠警告

■必ず銘板に表示してあるガス（ガスグループ）を使用する。
■転居されたときも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認する。

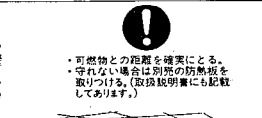
- 使用ガスがまちがっている場合、そのまま使用すると火災や不完全燃焼の原因になります。銘板は機器右側面に貼ってあります。使用ガスがわからない場合はガス事業者、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 製造年月も機器右側面の銘板に表示してあります。

■火をつけたまま機器から離れない 就寝、外出をしない

調理中のものが異常過熱し火災、機器焼損の原因になります。特に天ぷら、揚げもの調理をしているときはその場を離れないでください。離れるときは消火してください。

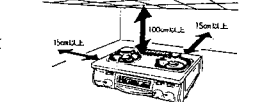
■機器の下に新聞紙やビニールシートなど可燃物を敷かない。また周辺に可燃物を置いたり、可燃性ガスを近くで使用しない

引火して火災・爆発をおこすことがあります。ふきん、カーテン、スプレー缶、ベンジンなどを置かないでください。

■設置するときは可燃物との距離を確実に離す

火災予防条例で定められております。必ず守ってください。距離が近いと、火災の原因になります。また、可燃性の壁にステンレス板などを、直接取り付けてご使用になっても、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し火災になることがあります。

■機器を設置した後周辺の改造をしない

設置後、吊戸棚などをつけると可燃物との距離が守れなく火災になることがあります。

・可燃物との距離を確実にとる。
・守れない場合は別売の防熱板を取りつける。（取扱説明書にも記載してあります。）

⚠警告

■地震、火災、または使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する

あわてずに消火しガス栓をしめてください。

■機器に手を加えない

お手入れする部品以外は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。ガス漏れや火災の原因になります。

■排気口をふさがない

排気口の上をなべ・アルミはく・ふきんなどでふさぐと異常過熱し、不完全燃焼や火災の原因になります。

■使用中もち運ばない

火がついたまま製品を動かさないでください。転倒すると火災・やけどの原因になります。

⚠注意

■古いゴム管は使わない

ガス漏れの原因になります。古くなるとひび割れや差し込み口がゆるくなりますのでときどき（6ケ月に1回以上）点検し古い場合は取り替える。

■ゴム管の継ぎたし 二叉分岐はしない

ガス漏れや誤使用などで危険な場合があります。

■ガス用ゴム管以外は使わない

JISまたは検査マーク入りのものを使用してください。

■グリル焼網の上にアルミはくを敷かない

アルミはくの上に脂がたまり発火し火災の原因になります。

■グリル水入れ皿に必ず、水を入れて使う

水入れ皿に水がない場合は、たまった脂が過熱され発火し火災の原因になります。続けて使用する時は、溜った脂を取り除きそのつど水をたしてください。使用後はこまめにお手入れしてください。また水以外のものを入れないでください。

■グリル庫内に食品屑やふきんなどないことを確認する

使用中に燃え火災の原因になります。

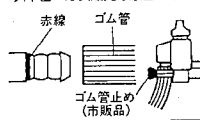
⚠注意

■ゴム管は機器に触れたり下を通さない
■ゴム管は、使用時又は他の機器で過熱されるような所も通さない

ゴム管がとけてガス漏れを起こす事があります。
ゴム管は折れたりねじれたりしない様できるだけ短く（2m以下で適当にゆとりをもたせる）

■ゴム管は確実に接続

ホースエンドの赤線まで差し込みゴム管止めで止めてください。ゴム管が抜けかけたりすると、ガス中毒・ガス爆発の原因になります。

確認

■調理以外に使わない

火災や焼損の原因になります。衣類の乾燥や練炭の火起こしなどしないでください。
衣類などが落下して火災になることがあります。

禁止

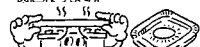
■使用後は必ず消火を確認する
■外出やおやすみ前はガス栓をしめる

ガス事故防止のために必ず行ってください。

■使用中は換気をする

ご使用と同時に窓をあけたり換気扇を回すなど必ず換気をしてください。
他の燃焼機器と同時に使用した場合、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。

■炎をふさいだり、コンロをおおわない
■市販の補助具（アルミはく製しる受け、補助ごとくなど）は使用しない

この機器の附属品あるいは指定のもの以外は使用しないでください。特にコンロをおおうような鉄板類や34cm以上の鍋は使用しないでください。不完全燃焼や過熱による一酸化炭素中毒や火災の原因になります。

■使用中、使用直後はボタン(つまみ)、取っ手以外は触れない

触れるとやけどをすることがあります。特に幼いお子様がいる家庭ではやけどに注意してください。

■グリル水入れ皿の出し入れはゆっくり確実に

グリル水入れ皿は途中で止まるものと止まらないものがあります。途中で止まるものでも持ち上げたまま引き出すと途中で止まらず落下し危険です。お湯がこぼれてやけどをすることもあります注意してください。

グリル水入れ皿が途中で止まらないものは特に気をつけてください。

機器コード	情報番号	通し番号	訂正番号
0670509	13	10	1

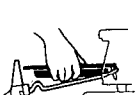
安全に正しくお使いいただくために

⚠注意

■なべの取っ手を排気口に向けない

グリルを使うとき排気口から高温の排気が出て取っ手が焼損することがあります。

■グリル水入れ皿を持って取り外さない

やけどをすることがあります。ぬれぶきんなどで持ってもやけどの原因になります。必ずグリルとびら取っ手を持つかグリル用取っ手を使用してください。
機種によりグリルとびらが落下する場合もありますのでご注意してください。

■魚を裏返す・取り出す時手や腕をグリルとびらやガラスに触れない

グリルとびらやガラスは高温になっています。
触れるとやけどをする原因になります。

■やかん、鍋などの大きさに合わせて火力を調節する

火力が強いとやかん、鍋などの取っ手が焼損したり、手に触れるとやけどをする原因になります。

■グリルとびらガラスに水をかけない・衝撃を加えない・傷をつけない

ガラスが割れてけが、やけどの原因になります。

■しる受け皿は確実に取り付ける

バーナーの炎がしる受け皿の下にもぐり込み火災や機器焼損の原因になります。

確認

■コンロ使用時は体の一部や衣服をバーナーに近づけない

衣服に炎が移ったりしてけが、やけどをする原因になります。

■バーナーキャップを水洗いしたときは水気をじゅうぶん切ってからセットする

炎口が詰まったまま使用すると異常燃焼の原因になります。

⚠注意

■点火操作をするときはバーナー・グリル排気口付近に顔を近づけない

炎や熱でやけどをすることがあります。

■点火操作を繰り返すときは周囲にガスがなくなるまで待つ

たまったガスに着火しやけどをする原因になります。